

令和元年度
神戸大学附属図書館資料展

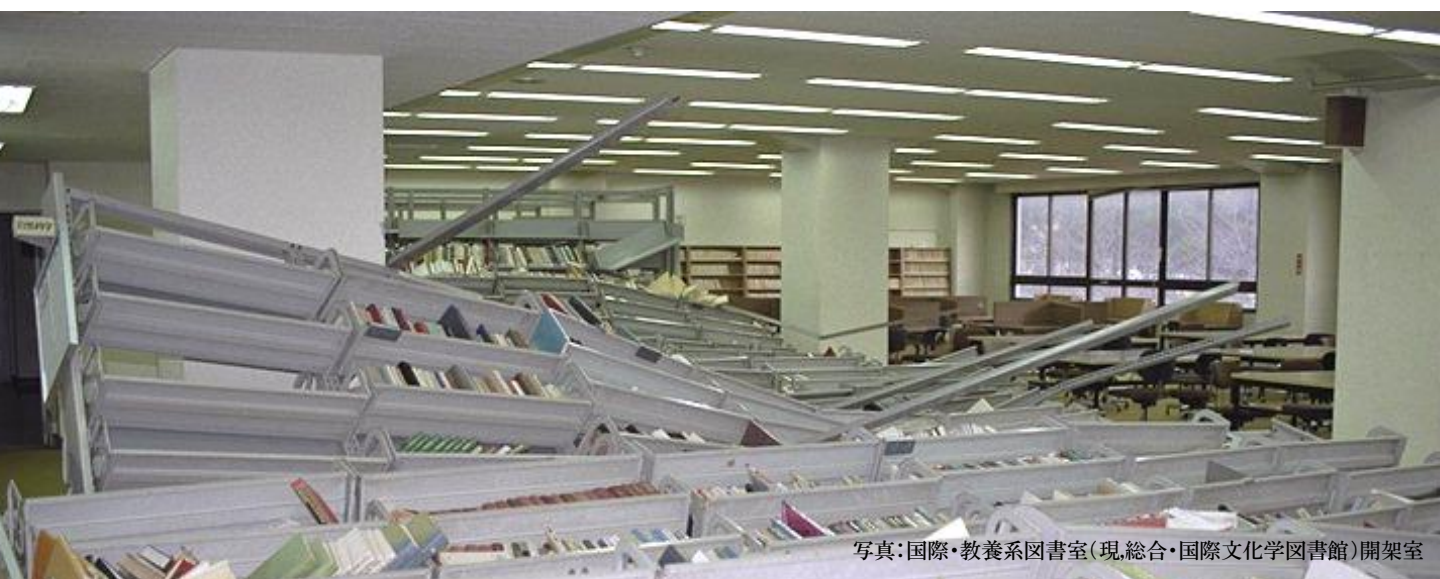
阪神・淡路大震災25年

あのときとこれから

見つめ直す、いま

展示品目録

令和元年10月11日(金)～令和2年2月4日(火)
社会科学系図書館2階展示ホール



1. 写真とデータでみる震災

あのとき何が起こったのか、神戸大学はどうだったのか、年表や統計データなどでご紹介します。当時とその後の復興の様子を比較していただく写真として、六甲周辺の当時と5年後の航空写真や、附属図書館の当時と今の写真を展示していますので、実際の場所を思い浮かべながらご覧いただければと思います。



崩れた六甲道駅 (撮影:大浦逸人)

No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号等
1-1	『阪神大震災・被災地航空写真集：町名入』	図書	1995年(平成7年) 日経大阪PR企画出版部	震災から半年後の1995年6月に撮影された53地域の航空写真集。展示は阪急六甲駅、JR六甲道駅周辺の写真。六甲地区は約7割の建物が被害を受けたため、空き地やブルーシートが目立つ。	震災-1-2//1995
1-2	『阪神大震災・被災地航空写真集：活断層復興住宅町名入』	図書	2000(平成12)年 日経大阪PR企画出版部	震災・復興の過程を空撮で定点観測した写真集の第4集(最終回)。1995年撮影分と比較すると、阪急六甲駅、JR六甲道駅周辺の復興の様子がよくわかる。	震災-1-2//2000
1-3	避難所・避難者数速報値：各区役所からの情報 [1995.1.17-1995.4.7]	パンフ	1995(平成7)年	震災当日から4月7日までの各避難所の避難者数について、各区ごとに集計した表。3月頃には神戸市災害対策本部民生部からの送付元と確認できることから、各避難所宛に送信されたと思われる。	震災-5-v616
1-4	『神戸大学新聞』(号外第3号)1995.1.30	新聞	1995(平成7)年 神戸大学新聞会発行	現在も活動を続けている学生ボランティア組織「神戸大学学生震災救援隊」を紹介する記事。救援活動を続ける中で被災者に必要な情報が不足していることを受けて、新聞会員を中心に神戸大学生協の協力の下、号外を発行した。	震災-8-v28
1-5	『留学生支援ニュース』no.4 1995.2.3	新聞	1995(平成7)年 神戸学生青年センター発行	日本基督教団の関係団体である神戸学生青年センターが被災した留学生への支援についてFAXで発信したニュース。	震災-8-v42
1-6	発足にあたって：阪神・淡路大震災の発生、被災、復興と防災にかんする総合的研究組織(神戸大学)	パンフ	1995(平成7)年 阪神大震災の発生、被災、復興と防災にかんする総合的研究組織(神戸大学)発足の会発行	1995年2月23日に研究組織(神大・震災研)が発足した時のチラシ。総合大学の社会的責務として、震災に関する研究活動を進める上で、多面的な分析と学際的な研究が必要となるため、学部を問わず研究者の参加を募る文面になっている。	震災-8-s462
1-7	『神大・震災研究通信』第1号 1995.2.28	新聞	1995年(平成7)年 神戸大学震災研発行	神大・震災研の研究会や調査活動の報告を中心に発行された。研究、活動は神戸新聞総合出版センターから出版された『阪神大震災研究』(全5巻)にまとめられている。	震災-8-v44
パネル	兵庫区大開通の道路陥没(神戸高速鉄道大開駅の上)	写真	2002(平成14)年 大木本美通撮影『震災記録写真』No.1(1995年1月～3月)	震災当日の写真。地下にある神戸高速鉄道大開駅が崩落し、その上を通る道路が陥没した。そのような状況でも周囲を車やバイクが通行している。	震災文庫
パネル	自衛隊のキャンプ地となったグラウンド	写真	1995(平成7)年 神戸大学柔道部後援会提供	写真は神戸大学六甲台グラウンドの様子。復旧作業を行う自衛隊が、基地として六甲台グラウンドと発達科学部グラウンドを使用した。	大学文書史料室
パネル	国際・教養系図書室2階開架閲覧室	写真	1996(平成8)年 神戸大学附属図書館撮影『兵庫県南部地震による神戸大学附属図書館被害状況写真集』	床置き式の複式書架の上部を繋いでいたものの、全面的に将棋倒しとなった。また、書架は倒れずとも歪んだり、多数の図書が落下したりする被害があった。現在、書架をはじめキャビネットやロッカーも壁等と固定するなど、一層の耐震措置がとられている。	震災-1-145
パネル	JR線わきの難南仮設住宅	写真	2002(平成14)年 大木本美通撮影『震災記録写真』No.4(1997年～2000年)	神戸市では32,000戸あまりの仮設住宅が建設され、灘区内には約1,000戸の仮設住宅が建てられた。神戸市の仮設住宅が解消されたのは1999年12月20日であった。	震災文庫
パネル	復旧工事中の岩屋高架橋(長さ530m)橋脚	写真	1995(平成7)年 前田耕作撮影『阪神・淡路大震災(記録写真)：1995.1.17～1995.9：於 西宮市～淡路島』	国道43号線は大阪市と神戸市を結ぶ幹線道路。真上に阪神高速神戸線が走っており、43号線は高架橋の落下・倒壊により被害を受けた。	震災-1-v11
パネル	神戸市役所2号館	写真	写真提供：神戸市 阪神・淡路大震災の記録写真オープンデータサイト『阪神・淡路大震災「1.17の記録」』	神戸市では、阪神・淡路大震災の記録写真をオープンデータとして提供している。この写真は震災翌日に撮影されたの市役所2号館。渡り廊下が落下し、6階部分が崩壊している。	神戸市
モニター(スライドショー)	【被災状況写真、神戸大学・六甲道駅周辺・三宮その他】	写真	撮影：進藤裕之、大浦逸人、谷通好、大木本美通、前田耕作、神戸大学職員ほか	震災文庫には一般の方より提供いただいた写真資料を多数所蔵している。その一部と大学文書史料室所蔵の写真を使い、現在の写真と共にスライドショーで上映。	震災文庫 大学文書史料室 神戸市

2. 次の世代に伝えるために

あれから25年がたち、当時を知らない方が今や多数となりました。世代交代の波の中、震災を語り継いでいくために何ができるでしょうか。このコーナーでは、町中にあるモニュメントや子供たちに向けた活動、震災をテーマにした創作など、人々の想いを後世に伝えるための取り組みを紹介します。

『しあわせはこぼる』(神戸市 防災教育副読本)



No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号等
パネル	センター街の震災モニュメント「讚太陽」	写真	2002(平成14)年 大木本美通撮影『震災記録写真』No.3(1996年)	壊滅的な被害を受けた三宮センター街の一角に設置されている。失ったものごとに絶望するのではなく、生き残った者が前を向いて進むことができるように、といった想いが込められている。	震災文庫
パネル	メリケンパークの東岸壁。後に震災モニュメントとして永久保存となる	写真	2002(平成14)年 大木本美通撮影『震災記録写真』No.1(1995年1月～3月)	遺構として現在も当時の状態が保存されており、傾いた街燈や陥没した地面が、震源の浅い直下型地震の威力を生々しく伝えている。	震災文庫
パネル	東遊園地内に震災モニュメント 慰霊碑が完成	写真	2002(平成14)年 大木本美通撮影『震災記録写真』No.4(1997年～2000年)	47都道府県から集められた種火により2000年1月17日に灯された。毎年1月17日には「1.17のつどい」が開催され、このモニュメントから分灯した無数の竹灯籠を灯す。	震災文庫
2-1	『震災モニュメントめぐり：忘れない1.17』	図書	2000(平成12)年 震災モニュメントマップ作成委員会他編著	神戸大学でも、学生・教職員あわせて41名の導い命が犠牲となった。六甲台第一キャンパスには慰霊碑が設置されている。毎年1月17日前後には、この慰霊碑の前で黙祷と献花式が行われている。	震災-15-145
2-2	慰霊と復興のMONUMENT：阪神・淡路大震災慰霊と復興のモニュメント建設募金にご協力をお願いします	チラシ	[1998(平成10)年] [慰霊と復興のモニュメント設置実行委員会]	中央区東遊園地の敷地内に設置された「慰霊と復興のモニュメント」は2000年1月16日に設置された。設置には募金が募られ、最終的に1億5千万円を超える費用が集まった。	震災-7-s506
パネル	『しあわせ運べるように：CDブック』	図書	2011(平成23)年 白井真著	『しあわせ運べるように』の作詞作曲者である白井真さんが記した本と合唱CD。神戸市内の小学校で歌い継がれてきた『しあわせ運べるように』は、世界の被災地で歌われるようになった。	震災-15-314
2-3	『しあわせはこぼろ』『幸せ運ぼう』 小学校 1・2・3年用、小学校 4・5・6年用、中学校用	図書	1995-2013(平成7-25)年 神戸市教育委員会編	震災を伝えるために神戸市教育委員会の呼びかけで作成された副読本。震災直後の春から編集を開始し、1995年11月に発行された。改訂を重ね、現在も神戸市内の小中学校で使用されている。	震災-8-42 他
パネル	『幸せ運ぼう：阪神・淡路大震災から学ぶ：ビジュアル版』	図書	2008(平成20)年 『ビジュアル版幸せ運ぼう』制作委員会制作・著作	『しあわせはこぼろ』に映像や新聞資料を取り入れたビジュアル版。神戸大学や読売新聞社の協力で作成され、4カ国語(英語、中国語、インドネシア語、スペイン語)に翻訳された。	震災-8-521
パネル	『幸せ運ぼう = Bring happiness to the world』英語版、中文版、インドネシア語版、スペイン語版	図書	c2010 [Committee for "Shiawase Hakobo"]		震災-8-598他
パネル	『子どもたちへのメッセージ集：生命の尊さと震災の教訓を語り継ぐ』	図書	2005- 2014(平成17-26)年 神戸市保健福祉局総務部人権推進課編	神戸市の「子どもたちへのメッセージ運動」に寄せられたメッセージをまとめたもの。2004年から10年間、阪神・淡路大震災を知らない子どもたちへ震災の体験を語り継いでいく活動として実施された。	震災-16-735
パネル	ユース震災語り部DVD：「私の語り」を使った震災学習	パンフ	2010(平成22)年	人と防災未来センターと舞子高等学校が「震災当時幼児から高校生までの世代」の震災体験を記録、作成したDVD『私の語り』を教材として活用した防災教育のパンフレット。	震災-8-v387
2-4	『しあわせ運べるように』	CD	1997(平成9)年 白井真作詞・作曲；森祐理[唄]；星川隆一編曲	復興のシンボル曲として現在も歌い継がれている曲で、展示資料のCDは、森祐理の歌が収められたもの。パッケージ内側には森の、震災で亡くなった神戸大学生の弟へのメッセージが書かれている。	震災-15-97
パネル	『おほなる：天野正道作品集』	CD	2002(平成14)年 [天野正道作曲]；佐藤正人指揮；川越奏和奏友会吹奏楽団演奏	表題作は「阪神・淡路大震災の記憶を風化させないための作品を」という要望を受けて作曲された吹奏楽曲、2001年初演。作品タイトルの「おほなる」とは古語で「大地震」を意味する。	震災-15-351
パネル	『神の子どもたちはみな踊る』	図書	2000(平成12)年 村上春樹著	連作短編集。雑誌「新潮」に連載された5作品と書きおろし1作品を収録。6作品全てが何らかのかたちで阪神・淡路大震災と関係している。2019年に舞台化され、東京・愛知・神戸で上演された。	震災-16-662
パネル	『地球が動いた日』	図書	1996(平成8)年 岸川悦子作；ふりやかよこ絵	小学6年生の剛が主人公の児童文学作品。阪神・淡路大震災によって友人の死や自宅の倒壊、避難所での暮らしを経験し、約2ヶ月後の卒業式を迎えるまでを描く。アニメ映画化され、各地で上映された。	震災-16-315
パネル	『神戸在住』第1巻	図書	1999(平成11)年 木村紺著	主に1990年代後半の神戸が舞台で全10巻の内、震災文庫には特に震災に関連の深い3巻までを所蔵。テレビドラマ化され、2015年1月17日に放送。劇場版も同日に公開された。	震災-16-884/1
パネル	『ありがとう：1995年1月17日阪神淡路大震災発生』	DVD	2007(平成19)年 平山譲原作；万田邦敏監督	震災経験後、プロゴルファーを目指した古市忠夫の実話を映画化、2006年公開。震災による火災で自宅と経営するカメラ店店舗を失うが、奇跡的に火災を免れたゴルフバッグが古市を突き動かした。	震災-15-284
パネル	『その街のこども』	DVD	2010(平成22)年 井上剛監督；渡辺あや脚本	2010年1月17日にNHKで放送されたテレビドラマを再編集して劇場版としたもの。幼い頃に震災を経験し、現在は東京で暮らす男女が1月16日神戸で偶然出会い、夜の神戸の街を一夜中語り歩くストーリー。	震災-15-330
2-5	『Orange : people purple』	図書	[出版年不明] 宇田学[著]	劇団PEOPLEPURPLE(ピープルパープル)による演劇、2004年初演。阪神・淡路大震災で救助活動にあたった消防士の姿を描く。公演は100回以上に及び、2018年には神戸市消防長から劇団に感謝状が贈呈された。脚本と2005年公演のチラシを展示。	震災-16-923
2-6	ORANGE : PEOPLE PURPLE Humanism theater : 2004年夏、大阪で大きな反響を呼んだ衝撃作	チラシ	[2005(平成17)年] [劇団ピープルパープル]		震災-15-s1432

3. 震災に学び、備える

予測できない大災害に備えるために、あの震災から私たちは何を学び、どのような工夫を重ねてきたのでしょうか。震災の教訓を活かす取り組みは、あらゆる場所、あらゆる方法で、今もなお続けられています。趣向を凝らした防災関連のイベントや災害に強いまちづくりに焦点を当て、特色ある取り組みの一例をご紹介します。

神戸大学 震災復興支援・災害科学研究推進室
第7回シンポジウム ポスター



No.	資料名	種類	発行年、出典資料	コメント	請求記号等
パネル	いのちを守る学び継ぐ：緊急医療と防災教育の最前線	リーフレット	2018(平成30)年 [国立大学法人神戸大学]	「神戸大学震災復興支援・災害科学研究推進室第7回シンポジウム」のリーフレット。「緊急医療と防災教育」をテーマに、多方面からの講師による講演およびディスカッションが行われた。	震災-8-s1276
3-1	避難訓練コンサート	広告	2018(平成30)年 『KOBECCO：月刊神戸っ子』 vol.687	避難訓練コンサートとは、実際のコンサート本番中に、災害が発生したという想定で行われる避難訓練。2019年1月17日(木)に神戸国際会館で開催された「避難訓練コンサート」の広告が掲載されている。	震災-13-z26
パネル	『兵庫県地域防災計画』(平成8年修正 地震対策編、風水害等対策編)	図書	1996(平成8)年 兵庫県防災会議	地域防災計画は、地方公共団体が実施すべき防災業務について作成する計画であり、さらに「都道府県地域防災計画」と「市町村地域防災計画」に分けられる。これらの防災計画は毎年検討を加え、必要に応じた修正が義務付けられている。	震災-5-232
パネル	『神戸市地域防災計画』(平成8年3月策定 地震対策編)(平成8年6月策定 風水害等対策編)	図書	1996(平成8)年 神戸市防災会議		震災-5-73
3-2	防災基本計画の修正に伴う地域防災計画の見直しの推進について	文書	1996(平成8)年 『阪神・淡路大震災の記録』第3巻	消防庁より各地方公共団体に向けて、地域防災計画の見直しを促す通知文書。平成7年8月の防災基本計画の修正に伴い、地域の実情に即した具体的な実践的な地域防災計画への修正を指導した。	震災-5-156
3-3	あの震災を教訓に：神戸市地域防災計画地震対策編を見直し：市民・企業・行政が一体となって	記事	1996(平成8)年 神戸市役所『広報こうべ』 [1996.5.1]	『広報こうべ』の掲載記事。神戸市地域防災計画地震対策編の見直し点として「被害想定の特化」や「ボランティア教育推進」を挙げ、市民にも分かりやすく紹介している。	震災-4-v29
パネル	防災まちづくり大賞	パンフ	1996-1998(平成8-10)年 [自治省消防庁]	「防災まちづくり大賞」は、防災・減災・住宅防火に関する優れた取組・アイデアを表彰し、広く全国に紹介する活動である。総務省消防庁及び一般財団法人日本防火・防災協会により、平成8年度の創設以降、現在まで毎年実施されていて、それらは『防災まちづくり大賞事例集』に収録されている。	震災-5-v86
3-4	『防災まちづくり大賞事例集』	図書	1999(平成11)年 自治省消防庁防災課		震災-5-421
3-5	防災まちづくり大賞シンボルマークについて	文書	1997(平成9)年 消防庁防災課	「防災まちづくり大賞」のシンボルマークとして、大賞創設時にイラストレーターの和田誠氏によって作成された。市民が協力して防災に取り組む象徴として、犬と猫がバケツリレーをしているデザインが特徴的である。	震災-5-s120
ファイル	[防災関連のイベントチラシ]	チラシ		震災文庫には震災に関するイベント等のチラシ(一枚もの)を多数所蔵している。その中で防災イベントに関するものの一部を、クリアファイルに格納して展示。	震災文庫

「神戸大学附属図書館 震災文庫」について

神戸大学附属図書館は、阪神・淡路大震災の被災地の中にある図書館の責務として、関連資料を収集した「震災文庫」を平成7年10月30日より公開しています。資料の形態は図書・雑誌のみならず、レジュメ・チラシ類、写真や音声・映像等も含まれ、網羅的に収集しています。また著作権者・団体の許諾のもと、資料のデジタル化公開を進めています。

公開場所：社会科学系図書館管理棟3階 開室日・時間：平日の11:00～17:00
(土・日・祝日、年末年始(12/28～1/4)は閉室)

URL：www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/

